

? 「癸見塾」

第 65 回 津 文 化 協 会 文 化 講 演 会  
三重大学シリーズ

第 25 回文化講演会? 「癸見塾」

演 題 「藤堂高虎の『実像』に迫る」

講 師 山 口 泰 弘 氏 三重大教育学部 教授

藤堂藩の藩祖藤堂高虎(1556~1630)の肖像画は、礼拝の対象として数多く描かれました。その大半は長い年月のなかで失われましたが、今日わずかに遺る作品の中には、近世初期を代表する武家肖像画として重要文化財に指定されているものもあります。不思議なことに、高虎を描いたといわれる肖像画には、全く容貌の異なる2種の系統があり、またそれぞれの系統には判を押したように同じ画像の画幅があります。

講演会では、この二つの問題を解くことを糸口に高虎の実像に迫り、さらに近世における肖像画の制作の実態を探っていきます。

日 時 平成 21 年 5 月 23 日 (土) 13:30~

会 場 津図書館 2F 視聴覚室 (津市西丸之内 23-1 津リージョンプラザ内)



主 催 津市 津市民文化祭実行委員会

主 管 津文化協会

後 援 三重大学創造開発研究センター 三重大学附属図書館研究開発室 三重ふるさと新聞社

連絡先 津文化協会事務局 TEL 059-228-8393 (東 尚子 方)

この事業は「財団法人 岡田文化財団の助成事業」